



環境学

授業拝見!

理学、工学、人文社会科学、異なる専門領域の学生がともに学ぶ環境学研究科ならではの授業です。



【今回の授業】人文地理学セミナー 社会環境学 横山 智 教授

「人文地理学セミナー」は、主に横山先生が指導する地理学講座の修士・博士の学生を対象にした授業。発表40分、質疑応答50分。発表者は各自の研究テーマに関連する英語の学術論文2〜3本を1週間前にウェブにアップ。当日は内容の紹介だけでなく、自分の研究へどう活かすかにも言及しながら発表します。他の学生はウェブにアップされた論文を事前に読んで質疑応答に臨みます。各自の研究に即した発表なので、当然、テーマもさまざま。狩猟、クモ相撲、花き栽培、地理学ならではの幅広さ。しかしどのテーマにも、人と自然と地域のかかわりという大きなベースがあります。「論文をたくさん読んで、そこで提示されている理論や方法論を理解し、それと自分の研究をどう接続させるかを探る場です。同時に、質疑応答で人の意見やアドバイスを聞く。さらにほかの人の研究に触れることで刺激を受ける。それらを通して自分を奮い立たせてほしい」と横山先生。

この授業には「ゲストスピーカー」も登場。「着眼点の面白さや調査のノウハウなどを学生に伝えられれば」と、学生のリクエストや先生の「この人の話を聴いてほしい」という希望に基づき、学外の人を招いています。

論文をまとめ上げるのは、大学院の研究生活での集大成であり醍醐味です。それぞれが決めたテーマを深めるため、先行研究を調べ、調査を繰り返す、格闘しながら、そのプロセスで「のめりこむほどの面白さを感じてほしい」と、横山先生は大いに期待しています。



若月 健吾さん Iwatsuki kengo
社会環境学専攻 博士後期課程1年

私は、人々が地域の自然や動植物とどのような関係を構築して生活しているのか、ということに関心を持ち、民俗や自然資源利用、自然に関する知識・技術などに注目して研究を行っています。この授業は事前の準備が大変ですが、発表・議論を通して、自分の研究の土台が強化され、研究が着実に進んでいくのを感じます。また、同じ地理学でも関心・専門が異なる他の学生の話聞くことで、視野が広がり、幅広い知識を得られる点も、この授業の魅力です。楽しく建設的な議論をするために、最近では質問力を鍛えたいと考えています。そのため、授業に参加する上で、必ず1回は発言するように意識しています。



林 花梨さん Hayashi karin
社会環境学専攻 博士前期課程2年

この授業を受けていてよかったなと思うところは、自分の研究に必要なフレームワークを学んだり、研究の位置づけについて考えたり、とにかく広い視野を持って自分の研究について考えるきっかけになることです。英語の文献を探し、読み、内容と主張をまとめて自分の研究との接合性を考えて…と発表の準備はとてもハードです。しかし、セミナーでのディスカッションで得られた知見は、間違いなく自分の研究にとって重要なバックボーンになっています。受講する学生の、いろんな分野の議論を学んだり、いろんな立場からの考えや意見が聞けるのも、この授業の魅力です!